

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス能力探求スクールジーニアス荒井校					公表日 2026年 3月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	2ホールあり、広い空間となっている。また、活動部屋と静かにする部屋に分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	3	利用者様の人数によって、他施設からヘルプに来てもらう等、スタッフ人数の確保をしている	人材確保だけでなく定着率も向上の必要あり。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	スロープや手すりの設置を検討している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	3	毎日の清掃で清潔さを保っている。また、その日の活動に合った配置に変えて行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	カーテンや更衣室を活用して、個室空間を提供し、必要な時に使用してもらっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	4		まずはPDCAサイクルとは何かを改めて説明していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	評価表に関しては、共有して改善案も考えている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	外部評価は行っていない。	今後導入を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	新人・中途研修を開催している。また定期的に外部の方をお招きして研修を開催している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	トラブルや利用者さん情報について必要に応じてミーティングを開き、基本的にはグループラインを活用して情報共有している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	・会社でチームを立ち上げ、ミーティングを行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・定期的に新しいプログラムを取り入れている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	必要に応じて、活動を集団・個別と分けて行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	送迎で全員がそろわないことが多いため、グループラインを活用して情報共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	グループラインを活用して、随時情報交換を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2	情報共有をして、支援の検証→振り返り→改善→検証を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	定期的に行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	2	「地域交流の提供」以外は活動内で組み合わせながら提供できている	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	いくつかの趣が表を提示して、自分の意思を伝えたり、選ぶ経験をすることで、自己選択の機会を増やしている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	・基本的に児童発達管理責任者が主で出席している ・必要に応じて、電話での面談もしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	以前はできていたが、現在は連携が取れていない。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	送迎の際に、その日や最近の様子について情報交換したり、必要性に応じて電話で話すなどコミュニケーションが取れている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	4		今年度より実施。今後も行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3	助言頂いたことを、現場にも共有されている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4		地域との関わりが希薄なので地域の催しなどに今後は参加していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	5	参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎時に話をしたり、必要に応じて電話で話をして情報共有を図っているため、共通理解が持っている	
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	本人の意思を確認したり、保護者面談の際に確認を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	面談時に、支援内容の意向、確認を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	相談内容に応じて、電話、施設面談の機会を設けている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	3	高校卒業後の進路説明会について、開催させていただいた。	

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	迅速かつ適切に誠心誠意対応している。またスタッフ間で再発防止策を立てている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	2か月に1回広報誌の発行、毎日活動の様子をSNSで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	鍵付きの書庫で管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	絵カードや、活動表など可視化したり、連絡を多く取り合うなど配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8	1月に大学生ボランティアさん参加の運動会を開催した	今後開催ができるよう計画立案していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	契約時に説明を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCP委員会の設置をしている また事業所で避難訓練や通報訓練等、毎月 行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	契約時に確認し、必要書類に記入していただいている。また緊急時の対応について共通理解を図っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	契約の際に確認を行うとともに、おやつ提供時には他の物で対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2	行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	2	随時報告、共有をし、改善に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待委員会を設置し、会議や研修を行っている。また社外研修、講師をお招きしての研修を開催している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1	契約時に説明をし、個別支援計画へ記載している		